



環境自然学習 開催報告

メダカの産卵を観察しよう！

6月22日(日) 10:00～11:30 ★ 参加人数：子ども 9名、大人 7名

1. メダカについて

講師 ビオトープ管理士 松浦修一先生

- ・ビオトープ池について
- ・メダカの一生・特徴
- ・メダカの飼育方法

＜質問＞

Q：メダカの水槽の掃除の方法 Q：メダカを長く飼う方法



2. ビオトープ池 メダカの捕獲と観察

＜捕獲＞

- ・ミナミメダカ 0匹 ・モツゴ 20匹 ・トゲナシヌマエビ 20匹
- ・アメリカザリガニ 5匹 ・カダヤシ 100匹

＜参加者の様子＞

- ・トゲナシヌマエビが10匹とれた。
- ・魚や生き物を捕まえるのが楽しかった。
- ・ミナミメダカは、捕まえられなかった。



3. 参加者の声

- ・ビオトープの意味が分かった。
- ・メダカをもっと大切にしようと思った。
- ・メダカは、冬は動かないし餌も食べない。アメンボやマツモムシは直ぐには刺さないが、しばらく手の上におくなどすると刺すことが分かった。
- ・メダカには胃がないことが分かった。
- ・メダカは、メスの方が大きいことが分かった。

＜保護者＞

- ・メダカのオスとメスの見分け方や飼育方法が分かった。
- ・胃がないメダカは固形のフンをするので、砂利の掃除をするとういことが分かりました。
- ・メダカが激減していることを知らなかった。
- ・昔はたくさんいたメダカが今では絶滅危惧種になってきていると聞いて驚いた。
- ・モツゴとトゲナシヌマエビがたくさんとれました。家で大切に育てます。

